

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 4 号 (4 月 29 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Mリーグ 2勝1敗で首位に

4月26日、27日の両日、Mリーグの第2節、第3節が行われました。山形東は第一節で幸先良く東海を撃破し、暫定首位で26日の日大戦に臨みました。

日大は伝統の堅守とオープン攻撃を軸に序盤から圧力をかける。日大の選手はいずれもコンタクト・スキル（体を使いながらボールをキープする、抜く、奪う技術）に優れており、派手さはないもののしっかりとした技術で山東を苦しめる。前半は、崩されていないが競り合いの連続からシンプルに押される展開に。しかし山東は左のカウンター攻撃から、センターリングを左足で振りぬいた1年**市村**のファイン・ゴールで先制、前半を1-0で折り返す。後半は山東ペースで進んでいたが、後半30分ごろ、集中の切れ目で立て続けに失点し、1-2でタイムアップ。山東の詰めの甘さと、日大の勝負強さ・粘り強さが対照的なゲームでした。

翌日、優れたFWを擁する城北戦。昨日は敗戦したものの攻撃の内容に一定の評価を与えて臨んだ試合。県リーグ1部の4チームからなる「推薦Mリーグ」（県総体に推薦する4チームからなるリーグ）はいずれも1勝1敗で並んでおり、日曜が決戦に。城北の攻撃はこれまで、FWの力に頼って縦に速すぎるものだったので、それをしっかり撥ね返すよう指示。しかし山東のプレスの甘さが城北の力を引き出したか、城北は着実なパスから山東ゴールに迫る。山東も城北ゴールに近づくも最後のプレーに正確さを欠き、シュートで終われない場面が目立つ。前半は城北ペースで折り返す。

後半も一進一退ながら相手の攻撃が勝っている印象。城北はGKとの1対1を外すなど、山東にとっては「ラッキーな」展開。城北が大チャンスを外す中、山東は左サイドのドリブル後鋭い切りかえしから迷わず右足を振りぬいた3年平のすばらしい得点で先制。また混戦から押し込んで2点目。最後に練習の成果か神尾のビューティフル・ボレーでとどめ。3-0と、得点からだけ考えると圧勝に終わる。結果に比して内容はあまり良くなく、城北に先制されていたら0-3の結果もあり得た試合。正確なパス・キック・トラップ・ドリブルの重要性を改めて痛感しました。

リーグは2勝1敗で並んだ東海に得失点差で勝った山東が1位。正直「ツイていた」「出来すぎ」の感はあります。勝つにせよ、もっと安定感ある勝ち、相手に「いろんな意味で負けた」と思わせるような勝ちが欲しいと思います。

ただ、それが難しいチームだから「いかに接戦をものにするか」にこだわって戦術を組み立ててきたわけで、チームが戦術にフィットしてきたと考えることも出来ます。1戦目

の黒田のヘディング、3戦目の神尾のボレーは「内容で負けても少ないチャンスをものにして勝つ」このチームの特徴がよく出たと言えるでしょう。

理想（安定感ある勝ち）を求めつつ、現実（技術に欠けるウィーク・ポイント）に対応した戦術（押されることを前提にした戦術）を実行し、今後も頑張ります。応援よろしくをお願いします。

推薦Mリーグ星取表

	山東	東海	日大	城北	勝ち点	得失点差	順位
山東		○3-2	×1-2	○3-0	6	+3	1位
東海	×2-3		○3-1	○1-0	6	+2	2位
日大	○2-1	×1-3		×0-1	3	-2	3位
城北	×0-3	×0-1	○1-0		3	-3	4位

マネージャー 佐藤〇子 奇跡の生還

部員から伝え聞いている保護者の方が多いかと思いますが、ご報告までに。

4月15日午後6時50分頃、練習後、河川敷グラウンドから学校へと向かう途中、3年マネージャー佐藤〇子がトラックにはねられ、脳挫傷、外傷性くも膜下出血という重傷を負いました。千歳橋南側の交差点を山新方面へと（馬見ヶ先川下流から上流へと）横断していた〇子は、同じ方向から交差点に侵入し左折しようとしたトラックにはねられたのです。当初〇子は意識不明で痙攣がありましたが、すぐ意識が戻り、救急車の中で姓名・住所・電話番号をしっかりと伝えることが出来ました。

県立中央病院に搬送され、検査の結果、脳挫傷、外傷性くも膜下出血と診断を受けました。万一出血が止まらないなどということになれば、手術の可能性があるとのことで、当日はICUに入院。しかしその後、経過良好ということで一般病棟に移り、22日には退院することができました。病名からすればあまりに順調な回復で、驚くばかりです。後遺症もなく、結果的に何事もなかったことを本当にうれしく思います。〇子本人やご家族の皆様のお心がけの賜物でしょう。〇子、ほんとに良かったね!!!

今度は、奇跡の女神が山東サッカー部にも「奇跡のおすそ分け」をしてくれることを期待します。

山東マネージャー TV取材を受ける

4月21日（月）、山東サッカー部マネージャーがYBCの新番組「ブカツの天使」の取材を受けました。マネージャーを代表して武田△□子が主役となりますが、山東サッカー部の練習風景や部員のインタビューもあります。放映は予定よりも早まりまして、**5月18日（日）午後12:55**です。是非ご覧下さい。